

## (一般質問)

質問日	令和5年10月2日(月)		質問方式	分割方式			
質問順位	6	会派名	市民クラブ	議席番号	10	氏名	大城 七瀬
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 学校における生理用品の設置について	<p>本市における女性の生理の取組は他市と比較して積極的に行われている。しかし、学校現場での生理用品についてももう少し踏み込んだ支援をするべきだと考える。</p> <p>そこで、市内の小・中学校における生理用品の設置状況と今後の方針について伺う。</p>						奥家学校教育 部長
2 子ども権利条例制定について	<p>令和4年度の本市のいじめ認知件数は4883件、虐待相談対応件数は1204件であった。子どもたちには生まれながらにして人権があり、決していじめも虐待もあってはならないことである。子どもたちの安全・安心、そして命を守るために、いじめや虐待の項目を含めた子どもの権利条例の制定をするべきと考えるが伺う。</p>						吉積こども家 庭部長
3 学校に行かない子どもたちの選択肢について	<p>平成29年に学校に行けない、行かない子どもたちに学校外での多様な学びの場を提供することを目的とした教育機会確保法が制定された。学校に行っていない子どもたちが、本市に2210人いる。その理由も「学校に行きたいけど行けない子」「自ら学校に行かない選択をした子」と様々で、学校以外の選択肢も増えている。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 校外まなびの教室の送迎をモデル的に実施してはと考えるが伺う。</p> <p>(2) 校外まなびの教室以外のフリースクールなどの現状把握と、市民へ詳細な情報提供をすべきと考えるが伺う。</p>						奥家学校教育 部長
4 母親以外の育児参加について	<p>現在、本市では父親の育児参加の啓発に努力している。また、父親教室等を開き成果を出している団体もあり評価する。しかし、父親だけでなく祖父母や周りの親族も積極的に育児参加できる仕組みも整えるべきと考える。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 母親以外の方が育児参加しやすくするためにも、母子健康手帳の名称を変更すべきと考えるが伺う。</p> <p>(2) 本市では産前から夫婦を対象とした教室の開催や啓発などに取り組んでいるが、さらなる父親の育児参加を促し、子どもを産み育てやすい地域づくりを進めることが必要と考えるが、父親の育児参加を広げるための取組について伺う。</p> <p>(3) 祖父母となった職員が孫の育児のための休暇を取得するなど、育児に参加しやすい環境を整備することで、</p>						平野医療担当 部長 吉積こども家 庭部長 田中総務部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	男性の育児休業取得も促進されると思うが考えを伺う。	
5 A E Dの女性への使用方法について	<p>心肺停止になった子どもに対するA E D使用割合のデータでは、小・中学校では男女で大きな差がなかったが、高等学校になると女子生徒へのA E Dの使用割合が男子生徒に比べて約30%低く、多くが女性にA E Dを使うことにためらいがあるという結果である。1秒でも早く処置をすれば救えた命があるはずである。倒れた人のプライバシーを守るシートの設置を行っている施設もある。</p> <p>そこで、女性へのA E Dの使用率を上げるための対策について伺う。</p>	平野医療担当部長
6 地域の防犯対策について	<p>地域のコミュニティーがうまくできているところには、不審者が近寄り難くなる傾向があると言われている。防犯活動は警察に任せるだけでなく、自助、共助、公助の取組が必要である。本市は千世帯当たりの犬の登録頭数は政令指定都市で第1位であり、犬の散歩をしている市民に「ながら防犯パトロール」を行っていただければ効果的であると考えます。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 本市では地域住民による防犯活動団体として地区安全会議が組織されているが、当該団体の活動状況や市の支援について伺う。</p> <p>(2) 本市が行う地区安全会議の支援として、現在は見守り専用のたすきがあるが、それだけでなく犬の散歩用バッグ、リードに取り付けるバッジやキーホルダーなどを加えることにより、パトロールに協力する市民が拡大し、地域の安全性が高まるのではと考えるが伺う。</p>	新谷市民部長
7 音楽の都について (1) 学校で余っている楽器の活用について (2) 若手の音楽関係者の育成について	<p>(1) 少子化などにより、学校では楽器が余っている状況がある。余った楽器を地域の方が気軽に使えるような施策が必要である。未使用楽器の実態調査を行い、管楽器に必要な修繕を施して市民に貸し出す仕組みをつくっていると思うが、進捗状況と今後の展開について伺う。</p> <p>(2) 音楽活動を通じた人材育成の事業として、ジャズやクラシックなど分野を問わずに、オールジャンルの本市出身の若手音楽家やミュージシャンの活躍できる場や、演奏家のみならず音楽ファンを増やすことによって浜松の音楽業界は盛り上がると思うが、演奏会の支援、ファンを増やす取組について伺う。</p>	嶋野文化振興担当部長
8 本市のスポーツ施策について		嶋野文化振興担当部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>(1) シティマラソンについて</p> <p>(2) 地域スポーツ振興について</p>	<p>(1) 浜松シティマラソンは来年で20回目を迎える。昨年参加したが、応援も含め参加者がもっと楽しめる大会にしてはと考える。多くの海外マラソン大会にも参加したが、まちを挙げて工夫した運営がされていた。20年続けてきたことへの努力は評価するが、これを機にさらに市民に愛される大会へと飛躍させるべきと考える。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>ア これまでのシティマラソンを振り返って、評価と課題について伺う。</p> <p>イ 参加者はもちろん、応援者も楽しめる仕組みを考えてはと考えるが伺う。</p> <p>ウ 今後のシティマラソンの在り方について伺う。</p> <p>(2) 現在、スポーツ活動団体は運営面で厳しい状況にあり、環境を整えば指導者のレベルが上がり、中学校の部活動の地域移行の際に必要な指導者の確保にもつながっていくと考える。スポーツにアクセスしやすい環境づくりをするべきである。</p> <p>そこで、市民が生涯スポーツとして参加する、地域の活動やスポーツ少年団、クラブチームなどの活動団体への支援について伺う。</p>	
<p>9 住宅施策について</p>	<p>本市は省エネについて取り組んでいるが、二酸化炭素の排出抑制という観点に加え、光熱費の高騰が家計を圧迫し続けている状況を考慮することが不可欠である。さらに踏みこんだ取組が必要と考える。</p> <p>本市は省エネルギー住宅普及促進のため、「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）」の新築に対する補助制度を令和4年度から導入しているが、省エネルギー性能の低い既存住宅にも省エネ改修工事をする必要があると考える。</p> <p>そこで、省エネ住宅への補助制度の対象を既存住宅の改修にも拡充することで、脱炭素化の推進、市民の光熱費の負担軽減につながると考えるが伺う。</p>	<p>袴田カーボンニュートラル推進事業本部長</p>
<p>10 県営野球場を活用したまちづくりについて</p>	<p>県営野球場整備に当たっては、人々が集まるにぎわいの創出、環境価値を上げることが必要であると考えます。</p> <p>特に本市として、民間活力を誘導するために農地等の規制緩和やインフラ整備等ができるのではないかと考えます。</p> <p>また、野球場候補地周辺は本市の中心街から少し距離はあるが、県中西部はもとより三河地方からも車の動線はとてよい。そこで、県営野球場建設をきっかけに、スポーツ×まちづくりについて考えていくべきと考えます。</p>	<p>石坂企画調整部長</p>